

平成 16 年度事業報告

平成 16 年 4 月 1 日から
平成 17 年 3 月 31 日まで

1 . 平成 16 年度定期総会

平成 16 年 5 月 14 日金沢市において、平成 16 年度定期総会を開催した。

- ・ 第 1 号議案 : 平成 15 年度事業報告および決算承認の件
- ・ 第 2 号議案 : 平成 16 年度事業計画(案)および収支予算(案)審議の件
- ・ 第 3 号議案 : 役員異動の件

その結果、第 1 号議案、第 2 号議案ならびに第 3 号議案とも原案通り可決承認された。

総会終了後、(株)三井物産戦略研究所所長で(財)日本総合研究所理事長の寺島実郎先生の「ユーラシアダイナミズムと日本の進路～北陸経済活性化への視点」と題する特別講演を行った。

2 . 役員会等

(1) 常任理事会

第 294 回から第 296 回までの計 3 回開催した。

(2) 理事会

第 77 回、第 78 回(書面)の計 2 回開催した。

(3) 参与会

第 96 回を開催した。

3 . 事業活動の概要

(1) 委員会活動等

総合対策委員会

- ・ 第 2 次中期アクションプランの策定

平成 17 年 3 月 10 日金沢市において、第 2 次中期アクションプラン策定についての第 1 回総合対策委員会を開催し、本委員会の下に、学識経験者、会員企業等から選出された 11 名の委員による専門委員会を設置すること、現状把握・分析、戦略、アクションプランの方向性策定にあたってはシンクタンクを活用すること、および今後のスケジュール等について了承された。また、第 1 回の専門委員会も合わせて開催した。

・「P F I 事業」の普及・啓発活動

平成16年12月金沢市において、日本P F I協会との共催、日本政策投資銀行の後援による「P F Iセミナー」を開催した。

日本P F I協会の植田専務理事から「入札・提案の透明性の現状」と題し、指定管理者制度の整合性とそのリスクや入札・契約制度の改革などについて、日本政策投資銀行プロジェクトファイナンス部の清水課長からは「金融機関から見たP F I事業について」と題し、プロジェクトファイナンス活用の意義やファイナンス協議の進め方などについて講演を行い、P F I事業の実務的な課題等について理解を深めた。

・「地域行政懇話会」の開催

平成16年9月金沢市において、北陸三県、日本政策投資銀行、北経連により「地域行政懇話会」を開催した。平成15年度に実施した北経連会員を対象とする地方分権に向けてのアンケート結果の分析を行ったほか、今後の地域政策に対する意見交換を行った。

広域連携委員会

・北陸広域観光推進キャンペーン事業への支援

北陸三県、北陸広域観光推進協議会と連携し、「彩りの北陸浪漫回廊」をテーマとした誘客キャンペーン（「彩りの北陸浪漫回廊」推進事業）を支援した。

・「北陸環境共生会議」による循環型社会形成の推進

北陸三県と連携し、次の4項目について実施した。

- a.石川県及び富山県の環境フェアにおいて、三県リサイクル認定製品及び燃料電池車を展示した。(8月、10月)
- b.中部経済産業局の佐々木環境・リサイクル課長を招聘し「環境と経済の統合」に関する勉強会を開催した。(10月)
- c.石川県の一般市民を対象とした「環境・リサイクルバスツアー」を実施し、富山市エコタウン及び「とやま環境フェア2004」を視察した。(10月)
- d.(財)とやま環境財団と共催で、「進めよう環のくらし」をテーマとするシンポジウムを富山市で開催した。(2月)

社会基盤整備委員会

・北陸新幹線建設促進に向けた要請・要望活動

- a.北陸三県沿線自治体及び(社)関西経済連合会等と連携し、建設促進大会および中央要請行動を実施した。

[建設促進大会等 4件、中央要請行動等 2件]

- b.「北陸新幹線開通後の地域づくり」について議論した、北陸新幹線3市長(富山県下)サミットに参加した。

- ・ 東海北陸自動車道建設促進に向けた要望活動やフォーラムの開催
 - a. 平成 16 年 11 月 24 日名古屋市において、(社) 中部経済連合会や沿線自治体と共催で「東海北陸地域連携フォーラム」を開催した。
 - b. 東海北陸自動車道の早期全面開通に向け、沿線自治体並びに(社) 中部経済連合会と中央合同要請を実施した。

[中央要請活動 2 回]

産業開発委員会

- ・ 北陸 A J E C と共同で調査・検討を行った「中国との事業展開のあり方」について、その報告書を取りまとめると共に、平成 16 年 4 月 14 日に『中国との事業展開のあり方』～中国との共生による北陸企業の発展に向けて～』と題したシンポジウムを開催した。
- ・ 前記調査研究の一環として、平成 16 年 7 月 6 日から 15 日までの 10 日間にわたり、山田会長を団長とする、総勢 16 名で、中国の長江デルタ地域（上海特別市、江蘇省、浙江省）および珠江デルタ地域（香港特別行政区、広東省）を中心とした視察を実施した。

(2) 北陸 S T C 事業

設立以来 4 年が経過したが、この間北陸三県の産学官連携を促進し、会員から提案されたシーズ・ニーズ・アイデアの事業化に向け、「北陸 STC サロン」の充実や「目利き委員会」開催等により支援を実施した。(平成 17 年 3 月末現在登録会員数は 503 会員)

① 「北陸 S T C サロン」等の開催

昨年度に引き続きサロンを大学で開催し、研究施設の見学により産学官の連携を深めた。また、4 月には製品事業化へと進展しつつある成果事例 5 件について報告を行った。

(第 1～第 15 回サロン発表件数累計 129 件、参加者約 2,800 名)

- ・ 第 12 回：平成 16 年 4 月、金沢都ホテルにて成果発表会を開催。発表案件 7 件。参加者数約 210 名。

〈基調講演〉

演題「北陸の未来を創る－成功の宣言文」

講師：北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科教授

近藤 修司 氏

- ・ 第 13 回：平成 16 年 8 月、富山県立大学で開催。
発表案件 8 件。参加者数約 180 名。
- ・ 第 14 回：平成 16 年 10 月、金沢工業大学で開催。
発表案件 6 件。参加者数約 200 名。
- ・ 第 15 回：平成 16 年 12 月、福井工業大学で開催。
発表案件 11 件。参加者数約 180 名。

② 「目利き委員会」の開催

北陸S T Cのゼネラル・コーディネータおよびコンサルタント等が、下記の案件について、今後の方向性などのアドバイスを行った。

- ・ 第7回：平成16年6月、金沢市で開催。
「眼鏡産業における今後の戦略について」 (鯖江商工会議所)
- ・ 第8回：平成16年7月、金沢市で開催。
「パイプ形状内部に均一にコーティングするプラズマCVD法」 (フジタ技研(株))
「水素・酸素混合ガス(プラカガス)の凝縮反応を利用した廃硝子容器等の減容化の適用市場の開拓」 (稲野鐵工産業(有))
- ・ 第9回：平成16年9月、金沢市で開催。
「無菌植物を素材とするフラワーワールド製品の商品化」 (福井大学)
- ・ 第10回：平成17年2月、金沢市で開催。
「2.4GHz汎用電磁波加熱装置の製品化」 (福井大学)
「生物脱臭装置の開発と販路開拓」 (バイオ技研工業(株))
「超純水製造装置の開発と販路開拓」 (小松電子(株))
- ・ 第11回：平成17年3月、金沢市で開催。
「白癬(水虫)の簡易診断法の開発」 (福井大学)
「汚泥とその焼却灰の有効利用について」 (株ソフィア)
「光書込み型非接触ICリライト複合媒体タグの開発」 (富山大学)

③ 「知的財産戦略セミナー」の開催

平成16年9月金沢市において、戦略的・効率的な知的財産活動構築を目指した、セミナーを開催した。

参加者数約250名。

- ・ 基調講演 演題「知的財産立国への道」
講師：内閣府内閣官房知的財産戦略推進室事務局長
荒井 寿光(ヒサミツ) 氏
- ・ 講演 演題「知的財産戦略に関する基本的留意事項」
講師：木森国際特許事務所 弁理士
浅野 典子 氏
演題「商品開発に寄与する知的財産活動」
講師：コマツ研究本部知的財産部第三グループリーダー
笹木 正弘 氏

④ 「北陸ものづくり創生協議会」との連携

中部経済産業局、(財)北陸産業活性センターと協働し、「北陸ものづくり創生協議会」の事業推進にあたった。

⑤「ボランティア・コーディネーター制度」の導入

サロンなどで蓄積したシーズ・ニーズのマッチングを図るため、専門知識を有する5名のボランティア・コーディネーターを採用し、コーディネート強化に努めた。

(3) 会員懇談会

当連合会の事業についての中間報告、北陸の当面する諸課題についての意見交換や情報提供ならびに会員相互の交流を目的として、下記のとおり各県において会員懇談会を開催した。

福井地区 会員懇談会 (平成16年10月15日)

- ・ 特別講演 「北陸技術交流テクノフェア2004」行事に参加
演題：「可能性を探る」
講師：建築家、東京大学名誉教授
安藤 忠雄 氏

石川地区 会員懇談会 (平成16年11月24日)

- ・ 特別講演 演題：「宇宙から見る地球・生命そして文明」
講師：東京大学大学院教授
松井 孝典 氏

富山地区 会員懇談会 (平成16年12月6日)

- ・ 特別講演 演題：「歴史に学ぶ 激動期を生き抜く知恵」
講師：作家
津本 陽 氏

新春経済懇談会 (平成17年1月19日)

- ・ 特別講演 演題：「最近の金融経済動向について」
講師：日本銀行金沢支店 支店長
佐藤 毅一郎 氏

(4) 他連合会との連携強化(開催月順)

西日本経済協議会

- ・ 中国経済連合会が幹事となり、平成16年7月29日岡山市において西日本経済協議会代表者会議が開催され、総会開催要領のほか各地域の抱える当面の諸問題について意見交換を行なった。
- ・ 平成16年9月16日広島市において、第46回西日本経済協議会総会が開催され、「地域の自立と活力の創造—西日本からの提言—」を統一テーマに討議を行い、次のとおり決議を取りまとめた。
 - a. 国の新しい枠組みづくりに向けた取り組み促進
 - b. 地方分権改革の推進
 - c. 地域の個性と強みを活かした産業活性化
 - d. 地域の自立的発展を支える社会資本整備の促進

この決議に基づき、10月6日、各経済連合会の会長または専務理事が政府首脳並びに与党役員に要望を行なった。

三経連経済懇談会

平成16年8月26日、福井県あわら市において、北海道経済連合会、

(社) 東北経済連合会、北陸経済連合会の三経連による第9回経済懇談会を開催した。

今回は「個性と魅力あふれる地域の創造」を基本テーマとして、「地域の現状と課題」、「魅力に満ちた地域づくりへの取り組み」について意見交換を行い、その結果を次のとおり、決議に取りまとめた。

- a. 景気対策の早期実施
- b. 地域経済の自立と発展を支える社会資本整備の促進
- c. 産業活性化を支援する諸施策の推進
- d. 実効ある地方分権の推進
- e. 広域交流圏形成の推進

この決議に基づき、10月20日、北経連会長及び各経済連合会専務理事が政府首脳及び与党役員に要望を行なった。

日本経済団体連合会との懇談会

平成16年11月17日富山市において、(社)日本経済団体連合会との第31回北陸地方経済懇談会を開催した。

懇談会に先立ち、立山科学工業(株)本社工場を訪問し、電子部品、電子機器、FA機器の製造工程等を視察した。

懇談会では、「企業のダイナミズムの発揮と北陸経済の活性化に向けて」を基本テーマとし、「税制改正をめぐる動き」、「国の基本問題をめぐる検討」、「政治への取り組み及び経済連携の促進」、「社会資本の整備促進」、「広域連携事業の推進」、「新事業・新産業創出に向けた取り組み」などについて意見交換した。

日本経団連側から「北陸新幹線については、理論的に根拠をしっかりと述べるのが大切であり、日本経団連としてもその必要性について提言し、側面支援する。」との見解が示された。

中部経済連合会との懇談会

平成16年12月16日金沢市において、(社)中部経済連合会との第27回経済懇談会を開催した。

「魅力ある地域経済社会の構築をめざして」を統一テーマに意見交換し、次のとおり共同声明に取りまとめ内外に公表した。

- a. 景気回復のための経済対策の実施
- b. 魅力ある経済社会の構築にむけた産業活性化
- c. 広域連携事業の強化と社会資本の整備促進
- d. 地方分権推進による改革と自立型社会の構築

(5) 行政当局との意見交換・連携強化(開催月順)

三県知事との懇談会

平成16年5月11日富山市において、第32回北陸三県知事との懇談会を開催し、北経連から43名が出席した。

懇談会では、「躍動感溢れる北陸を目指した取り組み」と、「北陸三県の連携強化に向けた取り組み」について意見交換を行った。

北経連からは「社会資本整備の促進」、「北陸STC事業と三県関係機関との連携」、「広域観光の推進」、「北陸環境共生会議の取り組み」、

「地方分権の確立に向けた取組み」、「環日本海経済交流の促進」について意見を述べ、各県知事からはそれぞれ連携、支援する旨の意見が述べられた。

北陸・近畿両地方整備局との懇談会

平成16年9月8日福井市において、第12回北陸地域懇話会を開催し、北陸・近畿両地方整備局から16名、北経連から31名、オブザーバーとして福井県から土木部企画幹が出席した。

整備局からは北陸の地域づくりや平成17年度予算概算要求、7月の福井豪雨災害などについて、北経連からは社会資本整備の促進に向けての要望や被災地の早期復旧、産業活性化の取組みについて意見発表が行われた。自由懇談においては、福井豪雨災害に関連し足羽川ダムの早期建設や、物流の高速・広域化に向けた北陸地域の港湾・空港整備の促進などを要望し、活発な意見交換が行われた。

北陸総合通信局との懇談会

平成17年1月26日富山市において、第4回北陸地域情報通信懇話会を開催した。

北経連からは、平成17年度事業計画(案)、北陸S T C事業の活動状況について説明し、北陸総合通信局からは、平成17年度総務省予算(案)概要、情報通信分野の最近の動向、本省の施策の紹介や北陸管内での取組み等について報告があり、その後意見交換が行われた。

中部・近畿両経済産業局との懇談会

平成17年2月15日富山市において、第11回中部・近畿両経済産業局との懇談会を開催した。

「個性と魅力ある地域づくりに向けて」を基本テーマとして、中部経済産業局からは「北陸地域の経済産業施策」について、北経連からは「新技術・新産業創出に向けた取組み」について報告があり、その後自由懇談を行った。

この結果、北陸地域の産業活性化のため、北経連の「北陸S T C事業」と中部経済産業局の「北陸ものづくり創生プロジェクト」との連携を一層強めていくことなどを確認した

(6) 環日本海交流の推進

① 中国との新たな事業展開に向けた調査・研究

「中国との事業展開のあり方」に関する調査・研究を実施し、平成16年4月に報告書として取りまとめ発行するとともに、シンポジウム形式の報告会を開催した。

平成16年7月6日～15日、「長江デルタ地域」(上海特別市、江蘇省、浙江省)、「珠江デルタ地域」(香港特別行政区、広東省)を中心に中国ミッションを派遣し、意見交換および現状調査を実施した。

② 「第5回北陸・韓国経済交流会議」への参画

平成16年5月26日～28日、富山市において開催された会議に参画した。特に民間プログラムの商談会では、日本・韓国双方で参加企業

を早期に掘り起こし、事前のビジネスマッチングを行い、関心の大きな企業の来訪を得て商談会を実施したことで、従来よりも内容の濃いものとなった。(93件の商談が行われ、その中の1件が業務提携に結びついた)

③情報発信の充実・強化

○環日本海講演会の開催

北陸三県の企業を対象として、関心の高い中国をテーマに、各県ジェトロ等と共同して講演会を開催した。

・福井市 (10月)

テーマ:「中国進出の現場～失敗・撤退事例から学ぶ」

・高岡市 (11月)

テーマ:「地域経済の活性化を考える
～北東アジア経済交流・産学連携を軸にして～」

・金沢市 (1月)

テーマ:「中国ビジネスとリスクマネジメント」

・金沢市 (2月)

テーマ:「深圳テクノセンターの概要と進出企業の事例」

○機関誌等の発行

・定期号の発行

「えいじえつくればーと」(35～37号 3刊)

「ワームトピック」(57～62号 6刊)

○講師派遣

北陸の大学、商工会議所等に講師を派遣し、環日本海経済交流に関する情報を提供した。

・金沢西ロータリークラブ(4月)

テーマ:「海外展開についての私見」

・金沢商工会議所機械金属部会 (4・6・10・12月:計4回)

テーマ:「中国 体制転換へのチャレンジ」

・ERINAセミナー (9月)

テーマ:「地方発、北東アジア経済交流東京シンポジウム」

・富山大学 (1月)

テーマ:「北東アジア地域における経済交流ー域内諸国・地域の共生に向けてー」

・金沢港お客様懇談会 (2月)

テーマ:「中国経済と金沢港」

○委員会への委員派遣

・中部経済産業局・調査研究企画提案書評価委員会 (9月)

・グローバル化に対応した地域産業の発展に関する調査委員会 (9・10・12月:計3回)

・北陸地域を取り巻く国際環境変化への対応等調査委員会 (12・2・3月:計3回)

(7) その他関係方面との連携強化(主な共催行事)

①北陸三県青年会議所との懇談会

平成 16 年 10 月 9 日金沢市において、北陸三県青年会議所との第 11 回懇談会を開催し、三県青年会議所からは 10 名、北経連から 11 名が出席した。

今回は、「魅力と活力あふれる地域づくりに向けて」をテーマに、両者から活動報告を行った後、教育、観光、道州制等について意見交換を行った。

②その他関係方面との行事(主な共催行事)

平成 16 年 10 月 14 日～15 日、福井県産業会館で開催された「北陸技術交流テクノフェア 2004」について福井市等と共催した。

(8) 北陸イメージアップ推進会議の活動

北陸地域のイメージアップを図るため、次の事業を実施した。

①北陸イメージアップキャンペーンの実施(8 月)

北陸イメージアップ推進会議および北陸広域観光推進協議会では観光誘客の促進のため「彩りの北陸浪漫回廊」をテーマに、以下のキャンペーンを実施した。

- ・ **JR** 東京駅コンコースでの **PR** イベント
 - ・ 時 期：8 月 30 (月)、31 日 (火) の 2 日間
 - ・ 場 所：JR 東京駅 八重洲中央口
- ・ 電車中吊広告
 - ・ 8 月 31 日～9 月 3 日の 4 日間にわたり三県の **PR** ポスターを山手線、常磐線の車中に掲示した。

②北陸に対する意識調査の実施(8 月)

- ・ 北陸におけるイメージアップ事業をより効果的なものとするため、北陸地域に対するイメージ・印象や各種資源に対する認知度・評価について、アンケート調査を実施した。

③北陸イメージアップマガジン「FITNOW VOL.6」の発刊(12 月)

- ・ 「水と自然」、「趣と伝統」、「祭りと感動」、「夢と産業」、「ゆとりと満足」の 5 つの観点から北陸地域の魅力を多面的にアピールした。首都圏などでの地域 **PR** イベント時や北陸三県の東京事務所などへ配布し活用した。

(9) 北陸国際投資交流促進会議の活動

①国内における北陸地域への企業誘致活動

大規模産業展示会へブースを出展し、北陸の優れた投資環境を PR するとともに、ブース来場者に対し新たな設備投資(工場の新・増設他)予定などに関するアンケートを実施した。

- ・ 「ビジネス&テクノロジーフェア 2004 関西」への出展
(平成 16 年 5 月 19～22 日：インテックス大阪)

- ・「第5回コールセンター/CRM デモ&コンファレンス」への出展
(平成16年11月19~20日:池袋サンシャインシティ・文化会館)
- ・「第34回インターネプコン・ジャパン」への出展
(平成17年1月19~21日:東京ビックサイト)
- ②北陸地域への外資系企業の誘致活動
 - ・平成16年10月26日中国遼寧省大連市において「対北陸ビジネスチャンスセミナー」を開催した。
- ③広報資料の作成
 - ・北陸地域の投資環境などを紹介したPRパンフレットを改訂した。

(10) 広報・情報提供活動

- ①「会報」:第178号、第179号、第180号を発行。
- ②ホームページによる情報提供。
- ③「北経連の現況」:平成16年9月版を発行。
- ④「北陸の経済レビュー」:平成16年11月版を発行。
- ⑤景況などに関する会員アンケート調査実施(9月、3月)。
- ⑥「北陸における社会資本整備の促進に向けて」:平成16年11月発行。

(11) 会員状況

- ・会員数(平成17年3月末現在)

会員数	455 会員 (法人 424 社、団体 31 団体)
	昨年度末比 20 会員減少 (5 会員増加、25 会員減少)
会員口数	938 口 (法人 907 口、団体 31 口)
	昨年度末比 29 口減少 (9 口増加、38 口減少)

以 上